

[A類社会コース, A類現代教育実践コース環境教育プログラム, B類社会コース 対象]

歴史総合・世界史探究 解答例

令和7年度

一般選抜前期

I

問1

14 条の理念に即して、国際連盟が発足し、各国が集団的に国際平和を維持する枠組みはできた。また、中東欧諸国が、ロシアで起こった革命運動を防ぐ目的もあって、「民族自決」の理念に立ち建国された。しかし、国際連盟はアメリカが参加せず、その力は経済制裁などに限定され、国際紛争を十分に解決できなかった。敗戦国ドイツは、多額の賠償金を課せられるなど、敗戦国は領土の割譲や賠償を義務付けられた。敗戦国ドイツやオスマン帝国領は分割され、国際連盟下でイギリスやフランスの委任統治領となり、実質的な植民地支配は続いた。

問2

日本は、イギリスからの参戦依頼を好機とし、実際にはイギリスは参戦依頼を取り消したもの中国における権益確保をねらって参戦した。日本は袁世凱政府に対して二十一か条要求を強要し、大部分を認めさせた。戦後、中国はこの要求の取り消しをパリ講和会議に訴えたが拒否され、国内では五・四運動という抗議運動がおこった。英米は日本の拡大を懸念したが、1917年の石井-ランシング協定など協力関係は強化されたが、戦後、日本の影響力拡大を恐れる列強との利害調整がワシントン会議で行われ、二十一か条要求の旧ドイツ権益も返還された。

II

問1

A オクタウィアヌス B ハールーン=アッラシード C グレゴリウス7世 D 杜甫

問2

元老院など共和政の制度を尊重し、市民のなかの第一人者と自称してはいたが、実際にはほとんどの要職を兼任し、当時のローマの全政治権力を手中におさめていたから。

問3

ウマイヤ朝時代は、被征服地の非イスラーム教徒に対しジズヤとハラージュという税を課し、イスラーム教に改宗しても免除しなかった。アッバース朝は、非イスラーム教徒が負擔するジズヤと農地を持つ者例外なく支払うハラージュとに整理し、民族の別を超えたイスラーム教徒の間の平等がはかられたから。

問4

ハインリヒ4世が、グレゴリウス7世の推進した改革を無視しようとしたため、教皇から破門され、ドイツ国内の諸侯がハインリヒ4世から離反しそうになったため。

問5

漢の時代に仮託することで、唐の政治を直接批判することを避けられるから。

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・世界史探究 解答例

令和7年度

一般選抜前期

問6

租庸調などの税の負担に耐えられなくなった農民は、土地を放棄して逃亡する者も現れた。

問7

唐は、太宗の時代に、東西に分裂していた突厥を順次服従させ、西域に勢力を拡大させた。その頃、唐は、支配下にいた諸民族に対し自治を容認し、各方面に設置した都護府を介した羁縻政策と呼ばれる間接的な統治を行っていた。高宗の時代に入って、唐の支配領域は最大に達したが、次第に周辺諸民族の勢力が拡大するようになった。そのため、玄宗は節度使を設置して辺境防備のために軍団を指揮させるようになった。

III

問1   グスタフ・アドルフ                   ヴァレンシュタイン

問2

スペイン王となったカルロス1世は、のちに神聖ローマ皇帝カール5世に選出された。しかし、国内ではルターの宗教改革に直面し、対外的には侵攻してくるオスマン帝国にウィーンを包囲され、内憂外患に苦慮した。

問3

宗教戦争として始まった三十年戦争は、カトリック国のフランスがプロテスタント側について参戦したことで、宗教戦争としての側面よりもヨーロッパの覇権争いの傾向を強めた。

問4

フランコ

地主、カトリック教会

問5

ドイツ、イタリアはフランコに武器援助を行い、他方、ソ連は政府側を支援した。しかし、イギリス・フランスは不干渉政策を堅持する中で、世界各地の知識人と労働者が国際義勇軍を編成して、人民戦線政府を支援した。

問6

ゲルニカ

ピカソ

問7

この内戦は、ファシズムと反ファシズムの国際紛争となったが、叛乱側が勝利しフランコによる独裁体制が築かれた。この内戦の過程で、ドイツ・イタリアはベルリン＝ローマ枢軸と呼ばれる提携を強めた。これにドイツと防共協定を結んだ日本が加わり、枢軸と呼ばれるファシズ

〔A類社会コース，A類現代教育実践コース環境教育プログラム，B類社会コース 対象〕

歴史総合・世界史探究 解答例

令和7年度

一般選抜前期

ム3国の協力関係ができた。

IV

問1 科挙

問2 朝貢

問3 ネルチンスク条約 （一部分ではあるが）中ロ国境線の画定（確定）

問4

清は日清戦争の敗戦により、下関講和条約を取り結んだ。それにより、清は最後の朝貢国であった朝鮮の自主・独立を認めたことにより朝貢国が無くなり、清朝中国を中心とした伝統的システムは崩壊・消滅した。

問5 日本、中南米

問6 茶（紅茶、茶葉）

問7 密貿易であったアヘンの流入が拡大して、合法貿易の黒字額を上回ったから。

問8

広東貿易が拡大するにつれ銀の流出が拡大し、清の国内では銀価が高騰するようになった。明代以降、土地税は銀納が基準となっていたが、銀価格の上昇は実質的には増税となり、税の不払いが拡大した。